

2年間で565万円に

町のふるさとづくり基金は、創設から2年を経過し18年度と19年度で合わせて565万円に達しました。

19年度は40人から61件の申込みがあり、「森林の保全と資源循環」に31件で54万円、「新エネルギー導入」に23件で33万5千円、このほかメニューを指定しない寄付が7件で205万5千円です。

基金は、「森林の保全と資源循環」と、「新エネルギー導入」の事業に当てることにしており、19年度に一部取り崩して活用されました。

町では、自立に向け持続可能なまちづくりを目指して、町が持っている多面的な資源と機能、人材を生かして、21世紀の地球規模の課題である「食料・環境・エネルギー」の問題に積極的に取り組んでいます。本年度もふるさとの森づくり事業として10%の再造林と、新エネルギーの導入で公共施設にペレットストーブ1基を設置することにしています。

寄付の状況

●年度別 (単位：件数=件・金額=円)

	18年度		19年度		合計	
	寄付額	件数	寄付額	件数	寄付額	件数
森林の保全と資源循環に関する事業	1,665,000	72	540,000	31	2,205,000	103
新エネルギー導入に関する事業	780,000	38	335,000	23	1,115,000	61
指定なし	275,000	9	2,055,000	7	2,330,000	16
合計	2,720,000	119	2,930,000	61	5,650,000	180

●寄付者別 (単位：件数=件・人数=人・金額=円)

	18年度			19年度			対前年比		
	寄付額	件数	人	寄付額	件数	人	寄付額	件数	人
寄付者数	2,720,000	119	87	2,930,000	61	40	108%	51%	46%
うち個人	2,005,000	90	65	390,000	40	27	19%	44%	42%
うち団体	715,000	29	22	2,540,000	21	13	355%	72%	59%
町内の寄付額	1,315,000	20	14	180,000	11	7	14%	55%	50%
県内の寄付額	550,000	51	38	365,000	28	19	66%	55%	50%
全国の寄付額	855,000	48	35	2,385,000	22	14	279%	46%	40%

19年度は160万円を有効活用

19年度は、寄付をいただいた財源の中から160万円を取り崩して、次のような事業を行いました。

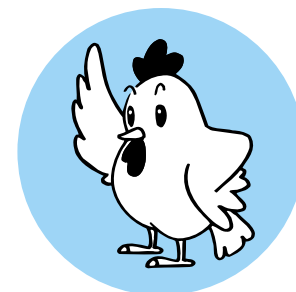
■森林の保全と資源循環に関する事業
…伐採跡地11.22%に再造林を行いました。



■新エネルギー導入…五日市小学校と星野ショートステイ事業所「すみれ荘」にペレットストーブをそれぞれ1基設置しました。



鳥インフルエンザの予防を！



十和田湖畔の白鳥から鳥インフルエンザウイルスが確認され、県内でも発生する可能性が高まっています。

以下の予防を行って、皆さんの大切な鶏をインフルエンザから守りましょう。

- 鶏舎の周辺を防鳥ネットで覆う
 - えさ箱は、鶏舎内に置く
 - 鶏舎周辺に消石灰を散布する
 - 鶏などの飲み水は、水道水を使用する
 - 外出時に着用した衣服や靴のまま鶏舎に近づかない
- 詳しくは、農林環境エネルギー課（☎内線144）まで。



オオヤマザクラなど約150本が植えられた植樹祭



「山村力大賞」の記念にシダレザクラを植樹した参加者

第9回 町植樹祭

豊かな森林 次代へ送れ

第九回葛巻町植樹祭は五月十七日、グリーンセンター北側に埼玉県の藤島建設が開設している企業の森「ふじしまの森」で開かれました。

「くずまき高原環境の森づくり事業」として行われた植樹祭には、葛巻地区森林愛護少年団、吉ヶ沢小、江刈小の児童や一般町民など約三百人が参加。時折降る大きな雨粒の中、レンジツツジやヤマツツジ、ベニヤマザクラなど県企業局や葛巻高原食品加工株式会社などから提供された約百五十本を、手分けして手際よく植えました。

森林愛護少年団の鈴木南さん（小屋瀬小六年）は「大きく育って、世界の環境に役だってほしいし、みんなも木を大切にしてほしい」と願いを込めました。

祝賀会も開催

やまぢから 日本一の「山村力」

昨年度、町森林組合が受賞した「山村力コンクール林野庁長官賞」の祝賀会は、植樹祭に引き続き行われ、山菜や焼き肉など地元産の季節の味を楽しみながら日本一を祝いました。

中崎和久組合長は「先輩が残した森林を子どもたちにしっかりと伝え、町の取り組みを世界に広げよう」と、参加者に呼び掛けました。

2年目「あなたの家庭菜園づくりお助けし隊事業」

今年も作ります！ 美味しい野菜

2年目を迎えた「あなたの家庭菜園づくりお助けし隊事業」の一斉耕起式が5月13日、内田子地区にある現地で行われました。新たに加わった3組を含めた8組が0.5㎡の家庭菜園づくりに挑戦します。

八幡平農業改良普及センターの普及員からジャガイモやダイコンなどの栽培方法についてアドバイスを受け、全員で除草や畝づくりなどを行いました。

「農作物は足音を聞いて育つから、菜園により多く足を運んで美味しい野菜をつくらうね」と、早くも収穫に思いをはせていました。

家族のふれあいや健康づくりのためにもぜひ参加してみませんか。

■問い合わせ先 農林環境エネルギー課（内線141）



一斉耕起式で顔合せし、家庭菜園づくりに挑戦する皆さん